

垣根仕立て栽培で「醸造ブドウ」を楽々生産

技術の概要

醸造ブドウの垣根仕立て栽培は、低コストで開園でき省力的

○低コストで園地整備

①垣根仕立て施設:施設設置が低コスト(慣行長梢棚比40%)。

○楽々作業で早く結実

①樹形:水平コルドン

②定植2年目収量:2品種平均89kg/10a(最大108kg、最小69kg)

③省力:作業時間削減(慣行長梢栽培比45~47%)



図1 醸造ブドウの垣根仕立て栽培

表1 開園時の施設費比較

施設	被覆有無	資材費 (千円/10a)	苗木代 (千円/10a)	合計 (千円/10a)
垣根施設 (レインプロテクション)	被覆	655	176	831
(対照)長梢棚	露地	1,279	50	1,329
(参考)長梢棚	被覆	2,273	50	2,323

表2 垣根仕立て栽培の作業省力効果(10a換算)

作業	アルモ ノワール	ケルナー	対照※
作業時間計 (対照比%)	34時間41分 (46.8)	33時間27分 (45.1)	74時間6分 (100)

※対照は、岩手県農業技術体系「ぶどう長梢平棚栽培」の作業時間

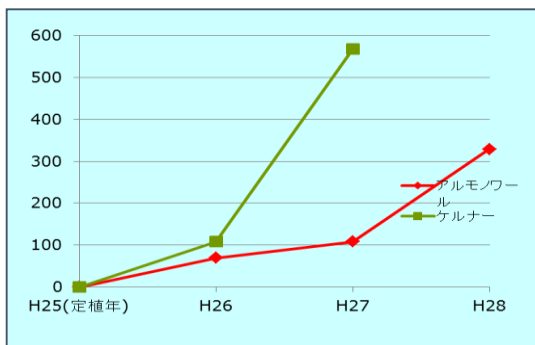


図2 垣根仕立て (水平コルドン仕立て) 樹の収量推移(10a換算)

期待される効果

- ①開園費が低コスト
- ②水平コルドン樹形で栽培技術平易化・省力化
- ③早期に結実開始



◎規模拡大やまとまった面積のブドウ栽培開始を可能にします。

【お問い合わせ先】

岩手県農業研究センター技術部果樹研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1 TEL0197-68-4419